



城南市民センターで開催された「城南区防災・安全安心塾」に参加しました。



南片江校区の防災訓練に参加しました。



県との政策制度実現のために幹事長として力を注いで参ります。



九電ユニオンの分会大会では県政報告を交えて挨拶を行いました。



連合福岡メーデーに参加しご紹介をして頂きました。働く人が中心の労働政策を行って参ります。



「博多どんたく」に参加、福岡の伝統行事とその歴史を後世に伝えていきます。



「気候変動と地球の未来について」天達気象予報士から講演を聞かせて頂きました。



梅林で発生した擁壁倒壊の現場を視察しました。



本県で開催する国際サイクルロードレースの式典に参加しました。



健康増進と地域の交流のため片江校区マダムバレーボール大会が行われました。



「堤地区防災訓練」に参加して、避難所設置のお手伝いを行いました。



子供達の健全育成と交流を目的とした「タグラグビー」に参加しました。

## PROFILE

昭和40年 6月21日／福岡生まれ  
昭和59年 西南学院高等学校卒業  
平成 元年 西南学院大学商学部商学科卒業  
平成 元年 近畿日本ツーリスト(株)入社  
平成 8年 衆議院議員秘書(国会内)

平成16年 (株)九電ビジネスフロント入社  
平成19年 県議会議員初当選  
平成23年 県議会議員2期目当選  
平成27年 県議会議員3期目当選  
平成29年 第79代福岡県議会副議長就任  
平成31年 県議会議員4期目当選  
令和 5年 県議会議員5期目当選

○第79代福岡県議会副議長  
○県民生活商工委員会委員  
○スポーツ立県調査特別委員会委員  
○国際交流推進議員連盟副会長  
○九州電力総連組織内議員

○民主県政クラブ県議団副会長  
○西南学院高等学校同窓会評議員  
○西南学院大学同窓会百道会会員  
○別府小おやじの会特別会員

〈家族〉妻 聡子(社会福祉士・介護支援専門員) ラニ(柴系犬)

# 県政報告

## 福岡県議会議員(福岡市城南区)

もり や まさと

# 守谷正人



## MORIYA REPORT

## Vol.59 (2023.7発行)

〒814-0104 福岡市城南区別府6-2-10 TEL 092-851-3679  
e-mail : macmac0621\_1965@mail.goo.ne.jp FAX 092-851-3670

ホームページ上で政策や日々の活動をご紹介しますと共に、県民の皆様のご意見ご質問を随時受付しております。



## 福岡県議会「県民生活・商工委員会」に所属

### ～中小企業振興や県民の安心安全対策、観光振興等について議論して参ります～

私が所属する「県民生活商工委員会」は、中小企業振興、先端成長産業の育成、安全・安心まちづくり及び消費者政策の推進、観光振興、企業立地の推進、NPO等との協働の推進及び生涯学習の振興、県民の文化・スポーツの振興、男女共同参画社会の推進などについて審査及び調査を行います。

また、特別委員会は前期同様「スポーツ立県調査特別委員会」に所属することとなりました。この委員会ではスポーツ振興及びスポーツ産業振興に関する諸調査、国際スポーツ大会の誘致、開催、レガシー(遺産)活用に関する諸調査、スポーツによる県民の健康増進及び高齢者、障がい者等の社会参画の促進に関する諸調査等を行います。

引き続き、県民の生活向上、県政推進のために力を注いで参ります。



## 2023年(令和5年)6月定例県議会につきて

2023年(令和5年)6月定例会は、6月6日から同月23日までの18日間の会期で開催されました。

定例会開会日に知事から、補正予算議案2件、条例議案12件、契約議案15件、その他の議案9件、計38議案が提案されました。

生活困窮者対策給付金に関する補正予算案1件は開会日当日に審議し、可決されました。

提案された主な条例案は、災害派遣手当の支給に関する条例の一部を改正する条例、福岡県屋外広告物条例の一部を改正する条例、福岡県都市公園条例の一部を改正する条例などです。新たに編成した補正予算は一般会計総額168億7000万円となりました。

代表質問、一般質問、各常任委員会での質疑を経て、いずれも閉会日の6月23日に本会議で議決されました。(詳細は2ページに記載しております)





# 令和5年度6月補正予算の概要につきまして

県民の生活・健康を支える医療・福祉施設、子どもの学びや成長を支える教育施設等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰対策に取り組むほか、価格高騰の影響を特に受ける低所得のひとり親世帯への支援、鶏卵価格の上昇の原因ともなっている高病原性鳥インフルエンザへの対策に取り組むとしています。主な施策は以下の通りです。(財源は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金160億円、繰越金2億円より充当)

## 低所得のひとり親世帯への支援

- **低所得のひとり親世帯に特別給付金を支給 6億6,337万5千円**  
[給付額] 児童1人当たり**5万円** [対象児童数] 約1万3千人(町村部のひとり親世帯分)

## 電力・ガス・食料品等の上昇分への支援

- **県民の生活・健康を支える医療・福祉・教育施設等に対し、電気代等の上昇分を支援**
  - ・ 医療施設等 **34億1,984万9千円** [病院・診療所(歯科含む)、施術所、薬局、助産所]
  - ・ 社会福祉施設 **23億3,925万8千円** [介護施設、障がい福祉施設、児童養護施設、保護施設等]
  - ・ 保育施設 **1億4,108万円** [私立保育所等、届出保育施設]
  - ・ 私立幼稚園、私立学校 **3億1,521万9千円** [幼稚園、小中学校、高等学校、専修学校(高等課程・専門課程)]
  - ・ こども食堂 **620万5千円**
- **特別高圧で受電する中小企業等に対し、電気代の上昇分を支援 46億6,721万8千円**
- **LPガスの使用世帯・事業所に対し、LPガス代の上昇分を支援 30億5,631万8千円**
- **飼料購入経費を支援 18億6,237万3千円**
- **肉用子牛の出荷価格下落に対する支援 1億8,416万3千円**

## 高病原性鳥インフルエンザ対策

- **防疫体制を強化 2億1,482万6千円**

## 会派管内視察

福岡市や北九州市の3施設を会派で視察しました。

### ①吉塚市場リトルアジアマーケット(旧吉塚商店街)

2020年にリニューアルしたこの商店街は外国にルーツを持つ方と「共生・共修」をめざした商店街となっています。人口減少、労働力不足が深刻化する中、外国人労働者の受け入れが本県でも進んでいます。誰もがより良く暮らせる地域づくりについて意見交換を行いました。



### ②廃校の利活用と障がい者就労継続支援B型事業所

旧門司特別支援学校を利用して就労支援等の事業を展開する「株式会社ピヴォット」を訪問しました。この施設はリサイクル業、輸出業、陸上養殖サーモン、食肉解体施設等を展開しており、就労継続支援B型事業所の成果報酬は全国平均214円/時間に対し、約540円/時間となっています。障がい者の就労支援と廃校の活用等を視察しました。



### ③「福岡障害者職業能力開発校」

北九州市若松区にある国立・県営の障害者職業能力開発施設「福岡障害者職業能力開発校」を訪問しました。この学校は身体障がい者及び精神障がい者、知的障がい者の方に職業に必要な能力を開発することを目的としています。様々な学科で一生懸命に学ぶ生徒の皆さんの実習の様子を視察しました。

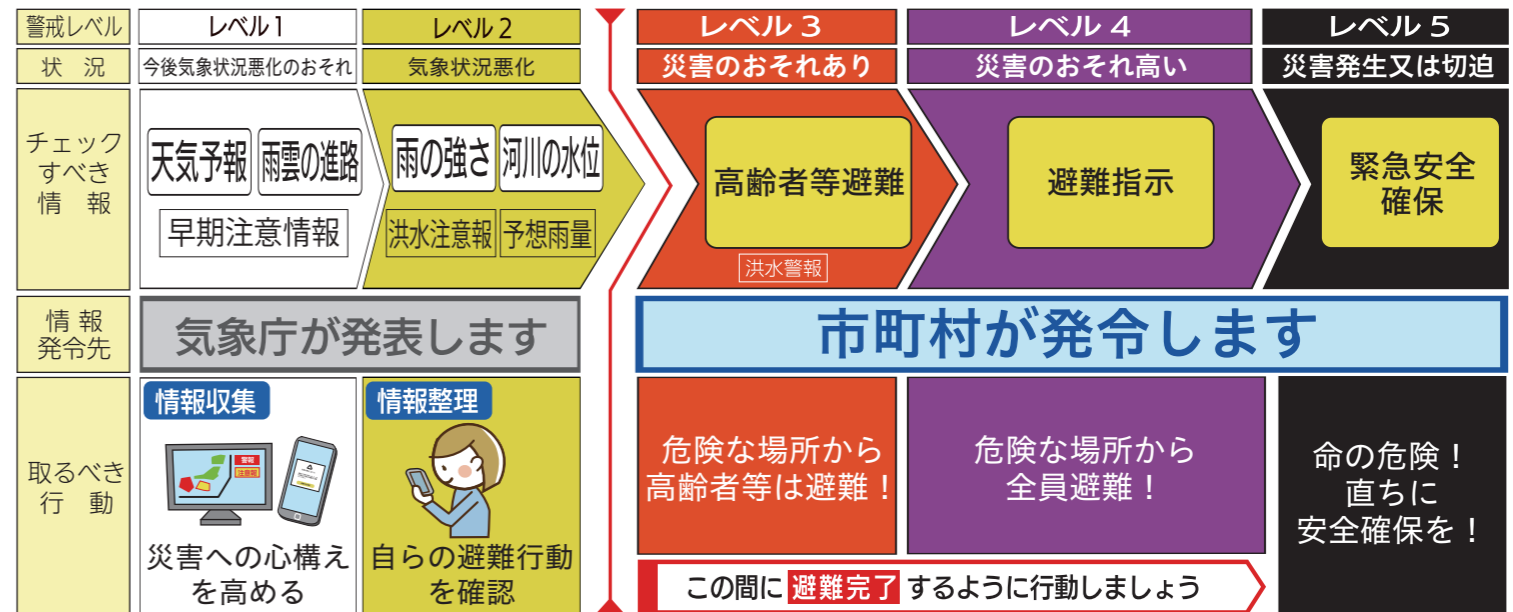


# 洪水から身を守る ～情報を正確に理解しましょう！～

6月～10月は「出水期」と言われ、梅雨などの集中豪雨、台風が起きやすい時期となります。出水期では、大雨や台風が近づいている時は、特に気象情報に注意してこまめにチェックしましょう。状況に応じて、河川の水位や土砂災害など状況を見極め、避難などの必要がある場合は速やかに行動しましょう。

## 洪水に関する情報を理解しよう

洪水発生のおそれがあるときは、避難情報や気象情報などに注意して早めの避難を心がける必要があります。洪水(降雨)に関する情報を理解して、避難する際に役立てましょう。



## 河川の水位に関する情報を理解しよう

河川の水位情報を市のホームページやテレビなどから入手し、避難する際に役立てましょう。

洪水ハザードマップ 城南区版

